

# NRIs Meeting X報告

第66回活発化チーム会合 資料  
開催日時: 2025年10月30日21時~22時(日本時間)  
日本からの参加者: 山崎

## 議題

1. 歓迎と紹介
2. NRIs調査の予備結果
  - 最終的なフォーマットと調査結果の活用
3. その他
  - NRIsとユネスコのインターネット普遍性指標(IUI)【時間切れのため追ってメーリングリストで紹介・議論】
  - ナショナルIGFの設立: マルチステークホルダー運営委員会の背景

## 対応が必要な事項

- 本会議では、本メールに添付の[NRIsによる予備調査結果](#)の検討に焦点を当てた。
- 期限までに全NRIsから回答が提出されなかったため、期限を1週間延長し11月6日までとすることに合意した。事務局は全NRIsに対し回答を促すリマインダーを送付する。言語が障壁となる場合、少なくとも国連公用語6言語内での調査の現地語翻訳を検討する可能性がある。
- 暫定調査結果からは、NRIsの運営方法、持続可能性、影響力に関して、成功事例と懸念事項の両方が既に示されている。
- 全回答収集後、事務局は視覚的グラフ報告と簡潔な記述報告を作成する。これらの報告書はWSIS+20レビュー共同ファシリテーターと共有され、調査を通じて寄せられた優良事例を強調する。
- 調査結果は、2026年IGFに向けたNRIsの活動に反映され、今後の優良事例と提言策定の基盤となる。
- IGF事務局の支援に特に関連する調査結果は、必要に応じて回答者と個別にフォローアップする。
- NRIsマルチステークホルダー運営委員会のメンバー選定において、国籍を考慮すべきか否かについても簡潔な議論が行われた。複数の関係者は、国籍は予め定められた要件ではなく、委員会メンバーが現地の状況を理解し、コミュニティのニーズに応え、能力構築に取り組むことが最も重要であると強調した。ただし、一部のNRIsは、国籍も考慮要素の一つであると指摘した。
- 次回のNRIs会議は11月第3週に開催され、近日中に(日程調整のため)Doodle投票が配布される。